

あ お い




通信

2022/11/25



年金の仕組みについて

日々の業務お疲れ様です。11月30日（いいみらい）は年金の日です。今回は、年金の仕組みについてお伝えします。日本の公的年金制度は、「国民皆年金」という特徴を持っており、20歳以上の全ての人が共通して加入する国民年金と、会社員が加入する厚生年金があり、私たちは2つの年金制度（いわゆる2階建て構造）に加入しています。（ご自身で私的年金に加入されている方は3階建てです。）老後には、全ての方が老齢基礎年金を、厚生年金に加入していた人は、それに加えて、老齢厚生年金などを受け取ることができます。このように、日本では20歳から60歳の全ての方が保険料を納め、その保険料を高齢者などへ年金として給付する仕組みとなっています。

【現役時代】 保険料を負担	3階		私的年金（iDeCo等）	
	2階	私的年金（iDeCo等）	厚生年金	私的年金（iDeCo等）
	1階	国民年金	国民年金	国民年金
		 <p>第1号被保険者 20歳以上60歳未満の農業者・ 自営業者・学生・無職の人</p>	 <p>第2号被保険者 会社員・公務員の人</p>	 <p>第3号被保険者 第2号被保険者に扶養されている 20歳以上60歳未満の配偶者 (年収130万円未満)</p>
	保険料	毎月16,260円（定額）	月給の18.30%負担 (半分は会社負担)	負担なし

【引退後】 年金を受給	65歳から	<p>月約57,000円 (基礎年金) + 私的年金</p>	<p>月約154,000円(平均) ※所得に応じて変動します。 (基礎年金+厚生年金) + 私的年金</p>	<p>月約57,000円 (基礎年金) + 私的年金</p>

年金のご相談方法



窓口でのご相談



最寄りの年金事務所で相談をすることが出来ます。

事前に予約をしてから行きましょう

年金事務所一覧→



電話でのご相談



通話料金が発生しますが、電話でも相談をすることが出来ます

お問い合わせの際は、基礎年金番号が必要です

問い合わせ先一覧→

